記者発表資料　　＜参　考＞

平成１９年９月４日
国　土　交　通　省
東北地方整備局
山形河川国道事務所

河川堤防の断面を見てみよう！
～堤防調査・実験を公開します。～

国土交通省山形河川国道事務所では、新しい堤防が完成したことにより撤去する予定の従来の堤防を利用して、さまざまな調査・実験を行います。

河川堤防は繰り返し拡築や補修が行われてきた歴史があり、古い堤防はその築造の歴史や材料構成などが明確ではありません。また、堤防にとっては好ましくないイタドリ等の有害植物の繁茂や小動物の巣穴等があることで堤防が弱体化している可能性があります。また、洪水時に雨水や流水が浸透（水のしみこむ状態）し、堤防の湿潤状態（水分が多い状態）が長時間続くと堤防の強度が低下します。

このため今回、河川堤防がどのような土質でできているか？小動物の巣穴や植物の根はどこまで入り込んでいるか？を実際の堤防を開削して調査するとともに、堤防に人工的に雨を降らせる装置や水をためる水槽を設置して、洪水の状況を再現して河川水が堤防へ浸透する状況を把握するための実験等を行う予定です。

こうした調査・実験の状況を公開します。

◇公開日時、場所等

日　時：~~平成１９年９月７日（金）１４：００～１５：００~~ →９月１４日(金)に変更

場　所：山形市中野目の須川河川敷（中野目橋下流西側の河川敷）・・・別紙参照

対象者：地域住民の方々、防災関係者、報道関係者

◇公開内容

・堤防の開削断面調査
・降雨装置と貯水槽を設けて行う堤防の浸透調査

◇調査の目的

本調査は、実際に使われてきた堤防について、土質調査や浸透状況の実験を行い、その現状や挙動を把握することで、今後の堤防の安全性評価検討の為の一資料とするものです。

◇調査の概要

別紙参照

※　なお、大雨等により中止になる場合があります。

発表記者会　：　山形県政記者クラブ

〈 問い合わせ先 〉
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
（河川）副所長　横山　喜代太　（内線２０４）
調査第一課長　三原　金吾　（内線３５１）
山形市成沢西四丁目３－５５　TEL 023(688)8421 FAX023(688)8438